

新たな次元を迎えた薬剤師

これからの時代を生き残るために

座談会



今後の薬局・薬剤師のあるべき姿を語る4氏

2025年を一つのメルクマールにして、地域包括ケアシステムの構築が目指されている。今年度の診療報酬改定では、それがさらに明瞭となった。調剤報酬は「物から人」へという流れが確かなものになってきた。薬局・薬剤師は意識の大変革が求められている。そこで、薬剤師でもあり、経営学のMBAを取得している有識者として赤瀬朋秀氏(日本経済大学大学院経営学研究科教授)、癌を克服し患者の立場から鋭い提言を発し

ている山口育子氏(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長)、将来を見据えてユニークな薬局経営を行っている高橋正志氏(マスカット薬局社長)を迎え、司会を務める水野敦典氏(マスターイー&T研究所代表)にお話し、座談会「新たな次元を迎えた薬剤師」これからの時代を生き残るために」を行った。

水野 今回の診療報酬改定は、高齢化のピークを迎える2025年までに地域包括ケアシステム構築という観点から、非

常に大きな意味を持つものと考えられます。まず、改定についてのお考えをお聞かせください。

赤瀬 今回の診療報酬改定の基本方針を見直してみると「2040年」という言葉が出てきました。これまでは「2025年」を一つの目標と

達点として考えてきましたが、今回最後の診療報酬・介護報酬同時改定で次が示された。すなわち、25年までにやるべきこと

をしっかりと実践し、次の40年に向けて基盤強化しないと先に進めないという意識込みが大いに感じられます。

一方、ここ数年の改定の傾向を眺めてみると、前回の改定

「2040年」に向けた基盤強化の改定

医療機能分化形式だけでは済まない

が難しくなるといった印象があります。例えば、医療機能の分化、連携ですが、前回改定から分化・強化、連携になりましたが、機能分化をしな

ければ先に進まないよといったメッセージにも見えます。

今回の改定に関しては、前回までの総ざらいとして、そして未来に向けてしっかりと対応しなければならぬでしょう。これが本当の最後のチャ

「ビジョンあり」で「意識なし」

水野 薬局経営の面から見て、高橋先生はいかがですか。

高橋 日本の人口構造を見るとよく分かるのですが、約130年で急激に人口が増え、2010年を境に激減していきま

出席者
日本経済大学大学院経営学研究科教授
赤瀬 朋秀氏
認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長
山口 育子氏
マスカット薬局社長
高橋 正志氏
マスターイー&T研究所代表・司会
水野 敦典氏

マスカット薬局社長

高橋 正志氏

マスターイー&T研究所代表・司会

水野 敦典氏

ンスになるような感じがします。

山口 患者の立場からすると、医療機能の分化というものが進められてきて、それがさらに際

立つてきたと感じています。例えば、紹介状なしで大きな医療機関を受診すると、最初は200床以上だと特別料金がかり、2年前の改定は特定機能病院と500床以上の地域医療支援病院が最低5000円になり、

今回は400床にサイズダウンするということが、地域で結構大きな病院はこれに該当するのではないかと考えています。

こうなると急性期の場合、私たち患者も自分の状態に合わせて医療機関を選びが求められてきます。しかし、国民の理解が得られないままに、医療機能分化が進んでいるように感じます。こうしたことは、医療側だけで

なく国民にも知らせなければならぬのに、診療報酬という、医療側にしかメッセージが送られておらず、国民はますます理解が追いつかない感じがします。

さらに、医療機能分化からいうと、分化しているいろいろな機能が、さらにその機能をしっかりとやっているところに点数がつくようになったのが、とても印象的でした。ですから、名前だけの急性期病棟、地域包括

ケア病棟、回復病棟という形式だけでは成り立たなくなっている

一つ面白いなと思ったのが、風邪が必要のない抗がん剤を使うことを「必要ない」とちゃんと説明したら点数がつくようになった。私は、この国はいつまで風邪で抗がん剤を処方しているのだと思っていました。細かいところですが、これが一般の方々に広がればと思います。

ですが、残念ながら、調剤報酬の点数を気にするだけで、地域における役割を意識していない薬局がまだまだ多く、薬局業界は危機的状況にあると思います。

そこで、私は10年ほど前に会社組織を抜本的に改革しようと、インベ

た。弊社この危機的状況に對して「理念型経営」を実践しており、理念、目的、方針、ビジョン、単年度計画・目標を作成し、1年ごとに達成度を検証しています。その結果、今までの改定を乗り

越えてきました。そして、医療だけでなく健康への支援活動にも取り組み、地域に必要なとされる薬局を目指しています。

山口 もう一つの特徴として、多職種協働の形になってきていますね。今までは医師と看護師しかは点数が付いていな

かったのが、いろいろな職種が算定基準に入ってきており、退院するときの共同指導料にはリハビリのスタッフなどが入ってきていますし、医科歯科連携も加わりまし

し、高齢化が進めば高齢世帯や独居世帯が増えていくわけです。そうしたときに、一般の人たちはどのような視点でこれを見ているのでしょうか。

山口 まず、診療報酬改定は一般の人たちは全然見えていません。

ただ、今回は「看取り」や「ターミナル」、最悪なネーミングの「介護医療院」が導入されました。看取りなど今はできることでも、高齢者も減ってくる時代になってくると、高齢者の独居や老老世帯が多くなり、できなくなります。そうなると、誰が看取るのか、患者がどういう看取りを望むのかを叶えるという診療報酬の問題もありますが、希望を出したから

という、その人の家族の考え、家族もないのだったら叶えようがない状況が近い将来圧倒的になるのではないかと思います。

局、エンバミングをしました。費用は10万円くらいかかるのですが、とすなわち、「看取り」のあとも重要な課題になってくるはずです。例えば、今後必要とされるであろうことはエンバミングといわれる遺体衛生保全の技術です。遺体を殺菌、消毒して防腐処理を行う際に化学薬品を使いますので、その扱いにも専門家のアドバイスは必要かもしれません。

「地域」が主役の医療提供体制

赤瀬 さらに面白いのは、昨年の12月11日に発表された「平成30年度診療報酬改定の基本方針」の中に、「地域の関係者」という文言が入っていることです。しかも、基本方針の中では、明確に医療関係者と区別しており、「地域の関係者」は医療業界に限らないという解釈もできます。

水野 今回の診療報酬・調剤報酬のダブル改定に加え、医療計画の改定などもあり、トリプル改定となりますが、官僚はこれを「惑星直列」と呼んでいて、これがシンクロして大改革になっていくと言っています。

水野 今回の診療報酬・調剤報酬のダブル改定に加え、医療計画の改定などもあり、トリプル改定となりますが、官僚はこれを「惑星直列」と呼んでいて、これがシンクロして大改革になっていくと言っています。

山口 薬局は地域に根づいているはずなのに、地域包括ケアシステムの中には明確に入っていないせんね。

山口 薬局は地域に根づいているはずなのに、地域包括ケアシステムの中には明確に入っていないせんね。

赤瀬 診療報酬から若干話は逸れますが、看取りの話題が出てきましたので一言申し添えさせていただきます。現在、年間の死亡者数は大体134万人程度で、39、40年頃には168万人程度にまで増えるといわれています。そうすると、実際

山口 昨年8月に母が亡くなりました。土曜日だったのですが、葬儀場と遺体を保管する冷凍庫もいっぱい、火葬は水曜日によろやく取れたので4日後です。夏場でドライアイスだけでは遺体がもたないということに結

赤瀬 もし、こういったニーズに対する窓口を薬局ができたかどうか。看取り後の事業が大きな市場に成長することが見込めるとしたら、5万8000軒に上る薬局のインフラは十分に地域のニーズを満たすことはできるし、大きなビジネスチャンスになります。

山口 まず発想にないですよ。

「少子化」の影響を色濃く反映 社会保障制度全体で考えるべき

水野 今回の診療報酬・調剤報酬のダブル改定に加え、医療計画の改定などもあり、トリプル改定となりますが、官僚はこれを「惑星直列」と呼んでいて、これがシンクロして大改革になっていくと言っています。

水野 今回の診療報酬・調剤報酬のダブル改定に加え、医療計画の改定などもあり、トリプル改定となりますが、官僚はこれを「惑星直列」と呼んでいて、これがシンクロして大改革になっていくと言っています。

水野 国は「人生100年時代構想」などを提唱していますが、どうなのでしょうか。

高橋 少子化により人口が減少している現状を考えると、活躍できる人を増やすことは必要だと思います。ただし、健康でいることが大事ですね。健康維持に努めて健康寿命を延ばして活躍してきたという良い事例から私たちは学ばなければいけません。

水野 2040年には4割が独居世帯になるといわれています。その中で例えば、薬局などにし

山口 昨年8月に母が亡くなりました。土曜日だったのですが、葬儀場と遺体を保管する冷凍庫もいっぱい、火葬は水曜日によろやく取れたので4日後です。夏場でドライアイスだけでは遺体がもたないということに結

赤瀬 もし、こういったニーズに対する窓口を薬局ができたかどうか。看取り後の事業が大きな市場に成長することが見込めるとしたら、5万8000軒に上る薬局のインフラは十分に地域のニーズを満たすことはできるし、大きなビジネスチャンスになります。

山口 まず発想にないですよ。

薬局は健康事業を柱に 薬剤師は質向上が必須

山口 地域包括ケアの中に企業が入っています。これからは、ジムも予防のところにかわってきますね。

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

水野 国は「人生100年時代構想」などを提唱していますが、どうなのでしょうか。

高橋 少子化により人口が減少している現状を考えると、活躍できる人を増やすことは必要だと思います。ただし、健康でいることが大事ですね。健康維持に努めて健康寿命を延ばして活躍してきたという良い事例から私たちは学ばなければいけません。

水野 2040年には4割が独居世帯になるといわれています。その中で例えば、薬局などにし

山口 昨年8月に母が亡くなりました。土曜日だったのですが、葬儀場と遺体を保管する冷凍庫もいっぱい、火葬は水曜日によろやく取れたので4日後です。夏場でドライアイスだけでは遺体がもたないということに結

赤瀬 もし、こういったニーズに対する窓口を薬局ができたかどうか。看取り後の事業が大きな市場に成長することが見込めるとしたら、5万8000軒に上る薬局のインフラは十分に地域のニーズを満たすことはできるし、大きなビジネスチャンスになります。

山口 まず発想にないですよ。

赤瀬 もし、こういったニーズに対する窓口を薬局ができたかどうか。看取り後の事業が大きな市場に成長することが見込めるとしたら、5万8000軒に上る薬局のインフラは十分に地域のニーズを満たすことはできるし、大きなビジネスチャンスになります。

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

赤瀬 医療費の適正化には、その地域において、いかにして救急搬送や再入院を減らしていくかが重要になります。例えば、肺炎や転倒による骨折などは栄養管理や感染管理の徹底によってある程度の予防はできるはずですが、そういった地域

(3面から続く)

局に行って健康にしてもらうわけではない」と言うのです。患者の立場から、この辺はどうお考えですか。

山口 薬局には処方箋を持っていないと行けないと思っています。人が大半だと思います。気軽に相談できる場所だとも思っていないです。そこら辺りは、保険薬局になって以来、「調剤するところ」という方向に傾いてしまった歴史があるからだと思います。

赤瀬 医薬分業の副作

臨場感足りない薬局薬剤師

淘汰の時代、自覚なしは問題

高橋 そうですね。自信のある薬局しかできないと思います。それが薬局の差別化になるんじゃないかね。必要とされる薬局となるために、地域にどんどん発信して、地域の人たちに薬局に来ていただけるようにする。

医療や健康のファーストアクセスの場に薬局がなれるように、全国に広げていきたいと考えています。

山口 2月にあった近畿薬剤師合同学術大会で講演しましたが、そのとき病院薬剤師の方から質問がありました。持参薬の関係で、調剤に問題があることが分かり、それを伝えるため調剤した薬局に電話をしたら、「そうですか」という手応えのない反応だったそうです。

高橋 私の会社でも、意識の低い薬局もありますから、それを底上げしていかなければならないと考えています。

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではないでしょうか。病院におい



山口氏

人に伝わっていないですね。

山口 それを、そうではない薬局に今、しているところという方向に傾いてしまった歴史があるからだと思います。

高橋 そうですね。そういうことを一般の人たちに伝えるなければいけません。

赤瀬 病院薬剤師が病棟業務を行って評価され

たように、薬局薬剤師も地域に出て、調剤だけでなく健康を提供する場所

にあることを伝えるなければいけません。

山口 薬局には処方箋を持っていないと行けないと思っています。人が大半だと思います。気軽に相談できる場所だとも思っていないです。そこら辺りは、保険薬局になって以来、「調剤するところ」という方向に傾いてしまった歴史があるからだと思います。

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではないでしょうか。病院におい

ても調剤室と医薬品倉庫の中だけで仕事が完結していた時代には、患者の状態やニーズを的確に捉えられる薬剤師は多くなかったのではないのでしょうか。

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない



赤瀬氏

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

イノベーション体制大きく変える

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

赤瀬 意識が低い原因の一つは臨場感ではない

に対して薬学的観点からの服薬指導や在宅医療など、対話のところでしか生き残る道はなくなりま

入浴や排せつの介助に抵抗がある場合は、ロボッ

のだったら、こうした情報が必要ですよと言うべき

すね。

山口 そうなってる

と、今は処方箋に病名が

よりもカウンセリングで

書かれていませんが、早

急に病名や検査データを

が普及しても絶対できな

出してもらうことを、薬

剤師は要求するように

の温かいコミュニケーション

に時代が変わっても最後

自分たちが薬学的知見に

に残ると思います。逆に、

基づいて服薬指導をする

高橋 薬局の存在意義

にも関係していますの

で、ぜひ薬剤師会にも取

り組んでいただきたいで

すね。医師会と薬剤師会

が良い関係を作り、相互

理解を深めてほしいです。

剤で忙しいと思います

が、午後には空いている

時間帯があります。毎日

剤に従事する他の勤務薬

剤師に理解してもらえ

よう繰り返し話をするこ

とが重要だと思っています。

高橋 薬局でイベント

を積極的に行っていくべ

きだと思っています。また、

薬局だけでなく、地域の

公民館などに出向いて、

健康教室なども開けばい

いと思います。

山口 経営者の中で

も、そうした理念を持っ

ている方と、利益追求

型があります。ある薬

剤師の経営者が、「薬局

は医療機関になっていな

い。そこに問題がある」

とおっしゃっていて、私

は医療機関だと思ってい

たのに、確かにそうかと

思ったのです。そうす

ると、医療提供施設として

どっちを向くかによって

理念も方針も違ってくる

すね。

高橋 もちろん、企業

は利益がないと経営がで

きません。難しいこと

ではありますが、利益を求

めて動くのではなく、地

域の人に貢献して喜んで

いただき、満足しても

らった結果として利益が

上がり、その利益をさら

に地域貢献や人材育成に

使えるという流れが大切

だと思います。

最初から利益追求型で

数値目標やノルマを作っ

てしまうと、貢献という

意識がなくなり、悪い例

では不正請求などが起き

てくると思います。

赤瀬 根本的な課題を

挙げるとしたら、医療提

供施設というポジション

と開設主体を限定せずに

営利企業にも参入を許し

たことでしょうか。この

ことが、医薬分業の理念

を置き去りにした保険調

剤依存型の経営を加速さ

せたようにも見えます。

水野 先ほどの独居の

話題などがありました

が、高齢者がなぜ外に

出ないのか。コミュニ

ティーの場がないからで

というようなことを考え

るのです。

薬局・薬剤師がコミュニ

ニティーの中の一つとし

て、今までにない機能を

どのように発揮できるの

かということを考えてい

くと、生き残れると思

います。

水野 赤瀬先生は以前

から、薬局は全国で5万

8000軒あって、この

コミュニティを何で利

用しないのだと話されて

います。まさしく、薬局

をコミュニティの場と

して使えばいいのです。

日中は確かに処方箋調

剤で忙しいと思います

が、午後には空いている

時間帯があります。毎日

ではなくとも定期的に、

こういう時間帯を高齢者

などのコミュニティの

場として使えるのではな

いでしょうか。視野を拡

大しないとアイデア・知

恵は生まれないのではな

いでしょうか。

高橋 薬局でイベント

を積極的に行っていくべ

きだと思っています。また、

薬局だけでなく、地域の

公民館などに出向いて、

健康教室なども開けばい

いと思います。

山口 経営者の中で

も、そうした理念を持っ

ている方と、利益追求

型があります。ある薬

剤師の経営者が、「薬局

は医療機関になっていな

い。そこに問題がある」

とおっしゃっていて、私

は医療機関だと思ってい

たのに、確かにそうかと

思ったのです。そうす

ると、医療提供施設として

どっちを向くかによって

理念も方針も違ってくる

すね。

高橋 もちろん、企業

は利益がないと経営がで

きません。難しいこと

ではありますが、利益を求

「日常」に物事の視点が移る

薬局をコミュニティの場に

「企業の社会的責任」自覚を

水野 これから、日常

生活というか、「日常」

という部分に物事の視点

が移っていくと思いま

す。今までの業界は、

制度依存型産業でした。

これからは生活を視点に

どんと物事が移ってい

きます。薬剤師はこれに

どのように対応すればい

いのでしょうか。

赤瀬 まずは、薬剤師

が勤務している薬局の外

に出ることでしょう。地

域医療といっても、自分

が勤務している地域の実

態や実情を知らずして健

康サポートなどというの

はおこがましい。自分で

地域を歩いて回り、どこ

の家にどんな家族構成の

方が住んでいるとか、健

康上の課題はないかな

ど、そこまで分かって初

めて地域の薬局といえる

のではないのでしょうか。

ただし、経営者の立場

からすると痛し痒しの部

分もあります。ハイパ

フォーマーの薬剤師を外

に出して仕事を探索せる

と、薬局内部のパフォー

ムを上げていくことがで

きるからケア会議にも

参加したい」と主張し、医

療者あるいは介護の人た

ちと顔の見える化を図る

のです。そうすると、ど

んな問題が起きているか

が分かってきます。では、

そこに薬局として、どの

ような介入ができるのか

というようなことを考え

るのです。

薬局・薬剤師がコミュニ

ニティーの場がないからで

というようなことを考え

るのです。

薬局・薬剤師がコミュニ

ニティーの場と

して使えばいいのです。

日中は確かに処方箋調

剤で忙しいと思います

が、午後には空いている

時間帯があります。毎日

ではなくとも定期的に、

こういう時間帯を高齢者

などのコミュニティの

場として使えるのではな

いでしょうか。視野を拡

大しないとアイデア・知

恵は生まれないのではな

いでしょうか。

高橋 薬局でイベント

を積極的に行っていくべ

きだと思っています。また、

薬局だけでなく、地域の

公民館などに出向いて、

健康教室なども開けばい

いと思います。

山口 経営者の中で

も、そうした理念を持っ

ている方と、利益追求

型があります。ある薬

剤師の経営者が、「薬局

は医療機関になっていな

い。そこに問題がある」

とおっしゃっていて、私

は医療機関だと思ってい

たのに、確かにそうかと

思ったのです。そうす

ると、医療提供施設として

どっちを向くかによって

理念も方針も違ってくる

すね。

高橋 もちろん、企業

は利益がないと経営がで

きません。難しいこと

ではありますが、利益を求

めて動くのではなく、地

域の人に貢献して喜んで

いただき、満足しても

らった結果として利益が

上がり、その利益をさら

に地域貢献や人材育成に

使えるという流れが大切

だと思います。

最初から利益追求型で

数値目標やノルマを作っ

てしまうと、貢献という

意識がなくなり、悪い例

では不正請求などが起き

てくると思います。

赤瀬 根本的な課題を

挙げるとしたら、医療提

供施設というポジション

と開設主体を限定せずに

営利企業にも参入を許し

たことでしょうか。この

ことが、医薬分業の理念

を置き去りにした保険調

剤依存型の経営を加速さ

せたようにも見えます。

水野 先ほどの独居の

話題などがありました

が、高齢者がなぜ外に

出ないのか。コミュニ

ティーの場がないからで

というようなことを考え

るのです。

薬局・薬剤師がコミュニ

ニティーの中の一つとし

て、今までにない機能を

どのように発揮できるの

かということを考えてい

くと、生き残れると思

います。

水野 赤瀬先生は以前

から、薬局は全国で5万

8000軒あって、この

コミュニティを何で利

用しないのだと話されて

います。まさしく、薬局

をコミュニティの場と

して使えばいいのです。

日中は確かに処方箋調

剤で忙しいと思います

が、午後には空いている

時間帯があります。毎日

ではなくとも定期的に、

こういう時間帯を高齢者

などのコミュニティの

場として使えるのではな

いでしょうか。視野を拡

大しないとアイデア・知

恵は生まれないのではな

いでしょうか。

高橋 薬局でイベント

を積極的に行っていくべ

きだと思っています。また、

薬局だけでなく、地域の

公民館などに出向いて、

健康教室なども開けばい

いと思います。

山口 経営者の中で

も、そうした理念を持っ

ている方と、利益追求

型があります。ある薬

剤師の経営者が、「薬局

は医療機関になっていな

い。そこに問題がある」

とおっしゃっていて、私

は医療機関だと思ってい

たのに、確かにそうかと

思ったのです。そうす

ると、医療提供施設として

どっちを向くかによって

理念も方針も違ってくる

すね。

高橋 もちろん、企業

は利益がないと経営がで

きません。難しいこと

ではありますが、利益を求

めて動くのではなく、地

域の人に貢献して喜んで

(5面から続く)

患者さんとの「対面」にヒントがあって、現在、患者さんが処方箋を持って来て、薬剤師がその患者さんと対面するとき、対面できるだけの信頼関係が持ってもらえるだけのことをしているのか、対面したときにアイコンタクトをしているか、ただ言葉だけのあいさつで済みます。アイコンタクトをしてあいさつすれば全然違うのです。そういうところから変えていかないと、「見える化」と言ってもピンとこ

ないのです。

山口 薬剤師は真面目な方が多いので、おそらく自分の業務遂行しか考えていないのです。大体、期待してもらおうと思ったら、何を期待できるかが分からないと、期待な

重要な役割はバックヤードでやっていますね。薬剤情報提供は患者に直接ですが、薬歴管理や疑義照会は見えないところでやっています。一般の人たちは、それを説明してもらわないと、重要な役割を担っていることが理解できません。

ある薬局で、私がずっと見える化と言っているから、薬剤師の写真を全部貼ったそうです。顔の見える化もいいが、役割の見える化をしてほしいのです。特に、薬剤師の

のですが、それを言わないのです。

「業務としてこれはやらなければならないことだから」と、全く感性なくやっているのです。私がそれを実感したのは、2年前にインフルエンザに2週間空けてA型とB型に罹ったときでした。

最初はB型で、発症したのは松本でした。東京のシンポジウムに出なければいけなかったので、新宿に着いて、駅前の知らないクリニックに入っ

場に送って、そのまま大阪に帰りました。処方箋が発行されていたので、事務所近くのかかりつけ

薬局に本当は行きたかったのですが、39℃の熱もあり家に早く帰りたいため、家の近所の初めて行く薬局に行き、「インフルエンザと診断されて処方された薬ですが揃いますか」と言ったら、

「GE薬を入れれば揃います」とのことだったのでお願いしました。そして、重いキャリーバッグを横に、倒れ込むように椅子に座りました。

本来であれば、処方箋を見れば新宿のクリニック、インフルエンザと

言った、荷物を見れば、東京から帰ってきたばかりと分かるわけです。ところが、その薬剤師が出てきて私にバインダーを突き刺すようにして、「初めてですからこれに書いてください」と言うので

す。私は「インフルエンザで具合はどうですか、すみませんが、初めての方にこれを書いていただかないといけないのですが、そんなことをできる余裕ありますか」と

言われたら頑張ったかもしれない。でも、そんな配慮も何もなく、初めての人に書いてもらうからと突き出したのは象徴的だと感じました。

そういう対人業務というのは、相手が今どうなのかを想像して、想像するだけではなくいろいろな情報はあるわけですから、どういう声をかけるかというところから始めるのが人間対人間です。

笑顔もそうですが、そういうところの基本ができないのではないのでしょうか。

この医師はこれでもいいのだと、さらに別の薬を上乘せされたそうです。結果的に手術をすることになってしまったそうです。中央社会保険医療協議会の議論では、疑義照会を積極的にせよと推奨されています。現場での一例にすぎませんが、現場に身を置かないと本当の真実は分からないのではないのでしょうか。

赤瀬 その例は、いつの時代のことだという感じがですね。私が初めて病棟に出た1990年代には、「薬剤師が医師の処方

方に物申すとはけしからん」という医師もいました。数年も経てば同じ医師から「若い医師が誤った処方をしてたら、ど

他職種の接触が自分を磨く

赤瀬 それは、おそらく医療における臨場感の不足と、他職種と接触しておらず薬局の中だけで仕事をしているからでしょうね。冒頭にも話

同時に借金を背負う、そういういった事情から待遇面で優れている薬局に就職する方が多いと伺っています。

赤瀬 以前、病院の立ち上げに携わった際に、外来がん化学療法センターの設計を見て、患者

疑義照会をして変更がなくても、「チョット疑問を持ったので自分たちの役割として疑義照会

そうです。照会先の病院は大きな病院で、まず薬剤部に問い合わせるシステムで、電話をする対応に出た薬剤師が、県内

からこれでもいいですと電話を切られてしまったそうです。

ところが、そのMRは「どうでもできません。病院に出入り禁止になります」ということだったので、

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

ましたが、他職種と呼吸を合わせることができていない、共通言語もできていないから、そういう対応になってしまったのではないかと

大局的に見ると、長い薬剤師人生ですから、そういう人は損をしているようにも思えますし、最初は病院に就職して5

年、10年仕事を経験した後、地域医療に関心が向いたら、その時点で薬局に再就職してほしいと思っ

高橋 やったことの説明は大切ですね。ポリファーマシーに疑問をもち、疑義照会して、薬が

水野 ところで今、医療技術がものすごく進化しています。薬にしても

赤瀬 医療費の適正化と医薬品産業政策は矛盾しているところもあり、

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

ですから、大学を卒業したあとの一番最初の職場選びは、その後の薬剤師人生を左右する本

高橋 私は「見える化」というのは努力した結果で生まれるものだと思います。顧客や患者さんに感謝してもらえ

水野 疑義照会の件ですが、薬局の薬剤師が、その地域の病院から出た

水野 疑義照会の件ですが、薬局の薬剤師が、その地域の病院から出た

水野 ところで今、医療技術がものすごく進化しています。薬にしても

赤瀬 医療費の適正化と医薬品産業政策は矛盾しているところもあり、

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

病院に就職すれば、入院医療の現場を肌で感じる

高橋 私は「見える化」というのは努力した結果で生まれるものだと思います。顧客や患者さんに感謝してもらえ

水野 疑義照会の件ですが、薬局の薬剤師が、その地域の病院から出た

水野 疑義照会の件ですが、薬局の薬剤師が、その地域の病院から出た

水野 ところで今、医療技術がものすごく進化しています。薬にしても

赤瀬 医療費の適正化と医薬品産業政策は矛盾しているところもあり、

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

来患者しかも自身で歩いてこれる方が大半ではないでしょうか。最近

高橋 私は「見える化」というのは努力した結果で生まれるものだと思います。顧客や患者さんに感謝してもらえ

水野 疑義照会の件ですが、薬局の薬剤師が、その地域の病院から出た

水野 疑義照会の件ですが、薬局の薬剤師が、その地域の病院から出た

水野 ところで今、医療技術がものすごく進化しています。薬にしても

赤瀬 医療費の適正化と医薬品産業政策は矛盾しているところもあり、

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

奨学金を受給されている学生が多いので、卒業

高橋 私は「見える化」というのは努力した結果で生まれるものだと思います。顧客や患者さんに感謝してもらえ

水野 疑義照会の件ですが、薬局の薬剤師が、その地域の病院から出た

水野 疑義照会の件ですが、薬局の薬剤師が、その地域の病院から出た

水野 ところで今、医療技術がものすごく進化しています。薬にしても

赤瀬 医療費の適正化と医薬品産業政策は矛盾しているところもあり、

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

水野 バイオ医薬品を中心とした治療薬、例えばC型肝炎治療薬は95%が完治します。そうすれば、肝臓などの肝疾患は

先進事例を全国的に広げて

想像超える速度で社会変化

かという問題もありますね。高額な薬代を個人が全額負担しているわけではなく、高額療養費制度によって限度額までしか負担していないのです。また、市町村によって年齢は違いますが、子供の医療費は無料となっています。

山口 本心にそう思います。私は国民皆保険制度よりも高額療養費制度が問題だと思います。高額療養費制度は他の国ではあり得ない制度です。また償還払い制度のときは、いくら払って

るかが見えていたわけですが、それが、限度額しか払わなくてよくなくなり、非常にありがたいのですが、見えなくなってしまうと思います。絶対保たないと思っています。

赤瀬 最近になって、ある一定以上の年齢の方の癌には抗癌剤が効きにくいとか、たばこが原因である疾患の医療費が莫

大なものであるといった情報が見えてくるようになってきました。遠まわしに、今までのように国は何でも負担しませんよといったメッセージを送られているようにも見えます。

山口 医療費が見えないですよ。国民が自分たちの問題として捉えられるかというところ、考えていないのです。

水野 沢内村といったら、豪雪地帯で、故深沢辰雄(ふかざわ・まさお)氏が村長のときに、国に先んじて高齢者などの医療を無料にしましたね。

山口 先ほど話題になっていましたが、ICTやAIもそうですが、この先10年は、私たちの想像が付かないようなスピードだと思っています。そうなると、何かが変わってきたときに人間がついて行けるかどうかです。

水野 夕張もそうですが、歴史的な事例があるので、それをどう든国全体に広げたいと思います。

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題がありますが、ロコモティブシンドロームとかフレイル、サルコペニアなどが今、非常に大きな問題になってきています。皆、自宅で亡くなり

逆地方では駅前が閑散としているところも少なくない。結局、施設やサービス付き高齢者住宅(サ高住)ということになりま

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題がありますが、ロコモティブシンドロームとかフレイル、サルコペニアなどが今、非常に大きな問題になってきていま

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

赤瀬 社会の変化を感じないと想像しにくい部分だと思

常日頃から情報収集し、勉強して行動を起すことで自分の置かれて

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ



座談会を終えて

社会俯瞰し、危機感を持つ

水野 最後になります

水野 目先のことで判断する。また、世の中便利になりすぎていて、夕張や沢内村のように自分たちでどうにかしないと

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 最後になります

水野 目先のことで判断する。また、世の中便利になりすぎていて、夕張や沢内村のように自分たちでどうにかしないと

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 最後になります

水野 目先のことで判断する。また、世の中便利になりすぎていて、夕張や沢内村のように自分たちでどうにかしないと

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 最後になります

水野 目先のことで判断する。また、世の中便利になりすぎていて、夕張や沢内村のように自分たちでどうにかしないと

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 最後になります

水野 目先のことで判断する。また、世の中便利になりすぎていて、夕張や沢内村のように自分たちでどうにかしないと

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 最後になります

水野 目先のことで判断する。また、世の中便利になりすぎていて、夕張や沢内村のように自分たちでどうにかしないと

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 最後になります

水野 目先のことで判断する。また、世の中便利になりすぎていて、夕張や沢内村のように自分たちでどうにかしないと

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 最後になります

水野 目先のことで判断する。また、世の中便利になりすぎていて、夕張や沢内村のように自分たちでどうにかしないと

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ

水野 最後になります

水野 目先のことで判断する。また、世の中便利になりすぎていて、夕張や沢内村のように自分たちでどうにかしないと

水野 話は変わりますが、高齢社会になってきて、高齢者の看取りの問題があ